

ついに drupa 再び！

2024 年、LEONHARD KURZ は

独占プラチナパートナーとして drupa に出展します。

2024 年 4 月 4 日、フルト：4 年に一度、印刷業界のビッグネームが一堂に会する drupa。2024 年 5 月 28 日から 6 月 7 日まで、“we create the future“ をモットーに、印刷・製紙業界をリードする世界最大の展示会がドイツのデュッセルドルフで開催されます。1,800 を超える出展者が、画期的なイノベーション、業界をリードする知識や技術の継承、集中的なネットワーキングに焦点を当て集めます。表面加飾のエキスパートである LEONHARD KURZ(レオナルドクルツ社)は、今年もプラチナパートナーとして Hall 3 (E71-1~E71-2) にブースを構え、さまざまな見どころをご用意し、みなさまのご来場をお待ちしております。

可能性の再考

薄膜技術のスペシャリストである KURZ は 2024 年の drupa において、“Rethink what's possible“ をスローガンに掲げ、「創造性と技術」、「欲望とコスト」、「仮想性と現実」、「セキュリティとスタイル」、「デザインと持続可能性」という 5 つのテーマを設けました。KURZ は、一見相反する 2 つの要素を組み合わせることで、まったく新しい可能性が開けることを示します。KURZ のインダストリアルプロダクツ・アプリケーション事業エリア担当上級副社長であるマルクス・ホフマンは、「既成概念にとらわれず、何が可能かを再考することは、長期的な成功の前提条件です。過去に成功した概念に依存し、立ち止まってはなりません。私たちは、あらゆる分野で自らを精査することが健全かつ不可欠であると考えています。私たちは、このメンタリティを活かして、表面加飾の可能性を次のレベルに引き上げていきたいと考えています。」と語っています。

ブースでの幅広い提案

ホットスタンプ、コールドトランスファ、デジタル印刷の分野における幅広い表面加飾・特殊印刷製品やソリューションに加え、KURZ の子会社である Steinemann DPE、MPRINT、Hinderer + Mühlich (H+M)、KURZ Digital Solution も、684 平方メートルのブースにそれぞれの機械やソリューションを展示します。これまでの展示会と同様、今年もブースでは印象的

なライブ・プレゼンテーションやデモンストレーションが行われます。特別なハイライトとして、今年の drupa のモチーフのポスターは(まだ公開されていませんが)KURZ によって最高水準に仕上げられ、来場者が景品として持ち帰ることができます。

drupa に来場されるお客様は、機械を間近で見たり、他にはない美しく効率的で持続可能な表面加飾の可能性を知ることができるだけではありません。広いビアガーデンスペースのリラックスした雰囲気の中で、KURZ のエキスパートと意見交換をしたり、ネットワークを作ったり、質問をしたりする場として、ブースを活用していただけることでしょう。

drupa の独占イベントパートナー

2021 年に virtual.drupa のプラチナパートナーに選ばれた KURZ は、今年も同展示会の独占パートナーとして参加します。マルクス・ホフマンは、次のようにコメントをしています。「KURZ は、グラフィック業界向けに、最も洗練された、汎用性の高い包括的な製品ポートフォリオを提供しています。これには、コンプリートマシンシステム、コーディネートされた製品パッケージ、個別のソリューション、カスタマイズされたワークフローなどが含まれます。私たちは、印刷製品が注目されるよう、常にベストを尽くすことを目指しています。」

また、KURZ は drupa のパッケージング、サステナビリティ、テキスタイルの各タッチポイントに出展し、お客様や関係者の皆様に KURZ の専門知識をお伝えします。ホール 3、4、14 の各会場は、イノベーション、新しいビジネスモデル、パートナーシップのための特別な場となります。Touchpoint Packaging (Hall 3, B31) では、先駆的なパッケージングソリューションのためのプラットフォームを提供します。Touchpoint Sustainability (Hall 14, B60) では、業界の持続可能性に焦点を当てています。Touchpoint Textile (Hall 4, B30) では、ダイレクト捺染、スクリーン捺染、転写捺染、デジタル捺染に関するコンセプトを知ることができます。

未来への貢献

KURZ にとって持続可能性というテーマは、drupa やサステナビリティタッチポイントの範囲を超えてとても重要です。薄膜技術のスペシャリストである KURZ は、自社のプロセスや製品をより持続可能なものにするため、常に取り組みを続けています。リサイクル可能な製品や特に薄い基材の開発は、特殊印刷の専門家である KURZ の活動の

ほんの一例に過ぎません。同時に KURZ は、顧客の持続可能性の向上を促進し、グリーンな未来に適合させることを特に強く望んでいます。

概要

drupa は 2024 年 5 月 28 日から 6 月 7 日まで、ドイツのデュッセルドルフで開催されます。

LEONHARD KURZ Stiftung & Co KG: Hall 3, E71-1 - E71-2

製品グループ: コールドトランスファ用転写箔、ホットスタンピング箔、ホログラム箔、転写箔、箔版、インクジェット枚葉印刷システム、インクジェットフォイルアプリケーション、デジタルフィニッシング、パッケージデザイン用ソフトウェア、印刷業界向け e コマース展示会プレゼンテーションの焦点: コールドトランスファ、ホットスタンピング、デジタル箔押し、デジタル印刷、持続可能性における革新

###

会社について: KURZ グループは薄膜技術のグローバルリーダーです。KURZ は、包装・印刷業界から自動車分野、エレクトロニクス、カード、繊維分野まで、幅広い業界向けに、薄膜技術製品の開発・製造をしています。KURZ は、表面加工、加飾、ラベリング、偽造防止のための包括的な製品群を提供しており、エンボスマシンやエンボスツールの豊富な品揃えも特徴です。また、新技術への投資を継続的に行い、表面加飾に機能性を統合した革新的なソリューションを開発しています。世界 30 カ所以上に 5,500 人以上の従業員を擁する KURZ グループは、ヨーロッパ、アジア、アメリカで、標準化された品質・環境基準の元で製造を行っています。子会社、代理店、営業所からなるグローバルネットワークにより、各地域でのきめ細かなサポートを実現しています。

www.kurz-world.com

プレス連絡先

Lena Bruns

LEONHARD KURZ Stiftung & Co. KG

Schwabacher Straße 482, 90763 Fürth, Germany

Phone: +49 911 71 41-4084

E-mail: presse@kurz.de